

子規はどんな子どもだった？ その1

松山での子規

子規の生まれた日

子規は慶応3年9月17日(1867年10月14日)に、今の松山市で生まれました。

本当の名前は？

子規の本名は「正岡常規」といいます。また、幼名(子どもの時に呼ばれる名前)は最初「処之助」でしたが、「升」と変えました。それからは、みんなから「のぼさん」と呼ばれるようになりました。大人になっても、家族や友達から親しみをこめて「のぼさん」と呼ばれています。

子規の家族

- 【父】正岡常尚…松山藩に仕える武士でしたが、子規が5才の時に病気で亡くなりました。
- 【母】正岡八重…常尚が亡くなった後、子規と律を育てました。
- 【妹】正岡律…子規よりも2才年下です。お兄さん思いで、子規をいつも助けました。
- 【祖父】大原親山…松山藩の学者で、子規に漢文を教えました。

小学生時代の子規

子規は6才のころに、末広学校に通いました。そして8才の時に、勝山学校(今の番町小学校)に入学しました。また、塾にも通い、そこで漢詩などを習っていました。このころの子規は、本を読んだり絵を描いたりするのが好きなおとなしい性格でした。

展示でチェック！ ちょんまげ姿の子規



▲子規7才

これは、子規が7才の時の写真です。子規は“ちょんまげ”をゆっています。明治になるとちょんまげがめずらしくなったので、子規は友達にからかわれました。ちょんまげは、8才の時に切りました。

展示でチェック！ 小学生のころに描いた絵



これは、子規が11才の時に、「画道独播古」という絵かき歌の本を、友達から借りて描き写したものです。

